(d) その他

テバコマンテマ　稀少な植物であるが石立山の石灰岩に多い。

イワユキノシタ　本種も少いが石立山近傍では個體數も多く垂直的にも分布が廣い。尙石立にはモミジバセンダイソウがある。

コウシユウヒゴタイ　隔離分布の一例で石立山でも石灰岩地のみに生ずる。

コウスユキソウ　紀州四國に共通のものでウスユキソウと關係深い。處々に產するが蛇紋岩，石灰岩上に多い。

その他コタニワタリの如き北方系植物が矢張り石灰岩上に生じ(大野ケ原)，又最近發見されたタヌキノシヨクダイが矢張り石灰岩を生育地とする點など興味深い。

(7) 石灰岩以外には見られない植物がある。これらは好石灰植物であるか，或は上述の理由による遺存要素かである。然し斯樣な植物は少く，踏査の結果四國に於ては（他の地方では石灰岩以外に生ずるものを含めて）次の數種にすぎなかつた。卽ち，イチヨウシダ，クロガネシダ，タチデンダ，ケンザンデンダ，キンモウワラビ，ギンロバイ，ヨコグラブドウ，コウシユウヒゴタイ，トサジヨウロウホトトギス等で特に羊齒類に多いのが顯著である。

以上を要約すれば，石灰岩地帶の植群とフロラの特殊性は主として該岩石の物理的性質に支配される所が多く，化學的に聯關が深いと考えられる植物は少い。物理的性質では特に耐熱耐乾性が重要な關係を有する。從つて斯樣な土地では群落の相觀を異にし，又植物が隔離され，遺存し變化して特殊の區系的構成を示すに至るものと思われる。故に岩石の生成が古い程それは顯著であるが，勿論各地のフロラの相違はその地域の氣候に支配される事は言うまでもない。

尙本調査の一部には文部省科學研究費が使用された。記して謝意を表する。

○大日本植物誌「オトギリサウ科」について（木村陽二郎）Yojiro KIMURA : On the monograph "Hypericaceae, Nova Flora Japonica, no. 10." 273 pp. (1951) published by the National Science Museum, Tokyo.

大日本植物誌の第 10 册目として書かれた私の「オトギリサウ科」は昭和 18 年2月には校了となつていて印刷するばかりになつていたが，當時用紙の不自由と，三省堂の經濟的な理由から印刷ができず，延び延びになつていたところ，終に製版のおいてあつた工場が戰災にあつて燒失した。しかし幸に校正刷と原圖とは筆者の手許にあつて戰災をまぬがれた。戰後の事情は書店としてこれを出版することができず，そのまゝにおかれたが，本書は筆者の學位論文の主論文でもあり，出版する義務を感じつゝも頁數も多いため不本意ながらそのまゝになつていた。

筆者の本研究を始めより終まで指導せられた中井猛之進先生より昨年になつて，これを國立科學博物館より出版することをすすめられた。眞に有難く早速御厚意をお受けすることとした。一人筆者のみでなく本書の成り立つために種々の御援助を賜つた方々の

喜びにもなると思われる。出版の遲れたため本書の研究を助けて下さつた宮部金吾先生におみせできなかつたことが心殘りである。

本書は殘つた校正刷によつて活字を組み，內容は昭和17年にできたときと變つていない。ただヤクシマコオトギリの學名の異名としてその後の筆者の意見である *H. pseudopetiolatum* var. *yakusimense* を入れ，また久內清孝氏の「歸化植物」の引用を追加したのと產地のふえたものを少し加えた。しかし其の間，日本のオトギリソウ科植物に關する限り新論文なく，外國のものも筆者の知る限り重要な論文は出版されなかつた。また Type を含む變種及び品種は var. *typicum* Y. Kimura, var. *genuinum* Y. Kimura のような方式をやめて specific epithet をくりかえし author name を略すという方式にかえた。これは第7回國際植物學會の意向に從つたものだし，又，從來からの筆者の意向でもある。但し筆者は forma についてはこれを命名規約にしばられる taxon としてとる事に反對の主張をとつているが本書ではすべて國際命名規約に從つている。そこに多少不徹底なものが殘つているとも思われる。

總說に76頁をとつたのは邦產のものの全世界のものの間に占める位置をはつきりさせ又本書でどのような形質を如何にとりあつかつたかを各論でくりかえすことを避けるためである。各說では屬，節などで特徵をまとめ種の記載ではこれをくりかえしておらない。モノグラフの記載は，新種記載の際とは樣式が變ることは當然と思われる。

奧附の上に正誤表をそえたが，尙誤植が色々あると思われる。今まで氣のついたものは次のようなものである。

Errata 正誤表

頁 page	列 line	誤 for	正 read
27	19	デアリ未ダ	デアリ他ノ型ハ未ダ
27	22	てりはぼく科	てりはぼく科
27	註	Al. BROWN	AL. BRAUN
124	44圖	var. *genuinum* MAXIM.	var. *Ascyron.*
169	9	占守島（シムシル）	占守島（シユムシユ）
234	77圖中	1B	2B
”	”	2B	1B

本書は國立科學博物館の發行で購入希望者は國立科學博物館に申し込まれれば實費700圓にて頒布せられるとの事である。但し印刷數の多くないため必ずとはいえぬ由。

大日本植物誌が國家事業として今後なんらかの形式で出版が續けられることを希望し，本書の成立及び出版に努力して下さつた中井先生に篤く御禮申し上げる。